

令和 7 年度

県立麻生高等学校管理教室棟空調改修電気設備工事  
設計図

図面番号	図 面 名 称	縮 尺 ( A 3 )	備 考
E 0 1	配置図 案内図	1 : 1 5 0 0	
E 0 2	高压受変電設備単線結線撤去図	—	
E 0 3	高压受変電設備単線結線改修図	—	
E 0 4	既設電気室 撤去平面詳細図・立面図	1 : 3 0 , 5 0	
E 0 5	既設電気室 改修平面詳細図・立面図	1 : 3 0 , 5 0	
E 0 6	動力盤負荷表	—	
E 0 7	動力設備 改修1階平面図	1 : 2 5 0	
E 0 8	動力設備 設備スペース平面詳細改修図	1 : 5 0	
E 0 9	電灯設備 改修2階平面図	1 : 2 5 0	
E 1 0	電灯設備 改修3階平面図	1 : 2 5 0	
E 1 1	電灯設備 改修4階平面	1 : 2 5 0	
E 1 2	幹線・動力設備 撤去1 階平面図	1 : 2 5 0	
E 1 3	動力設備 1 階 設備スペース撤去平面詳細図	1 : 5 0	
E 1 4	動力設備 2 階 設備スペース撤去平面詳細図	1 : 5 0	

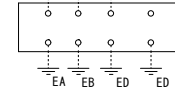
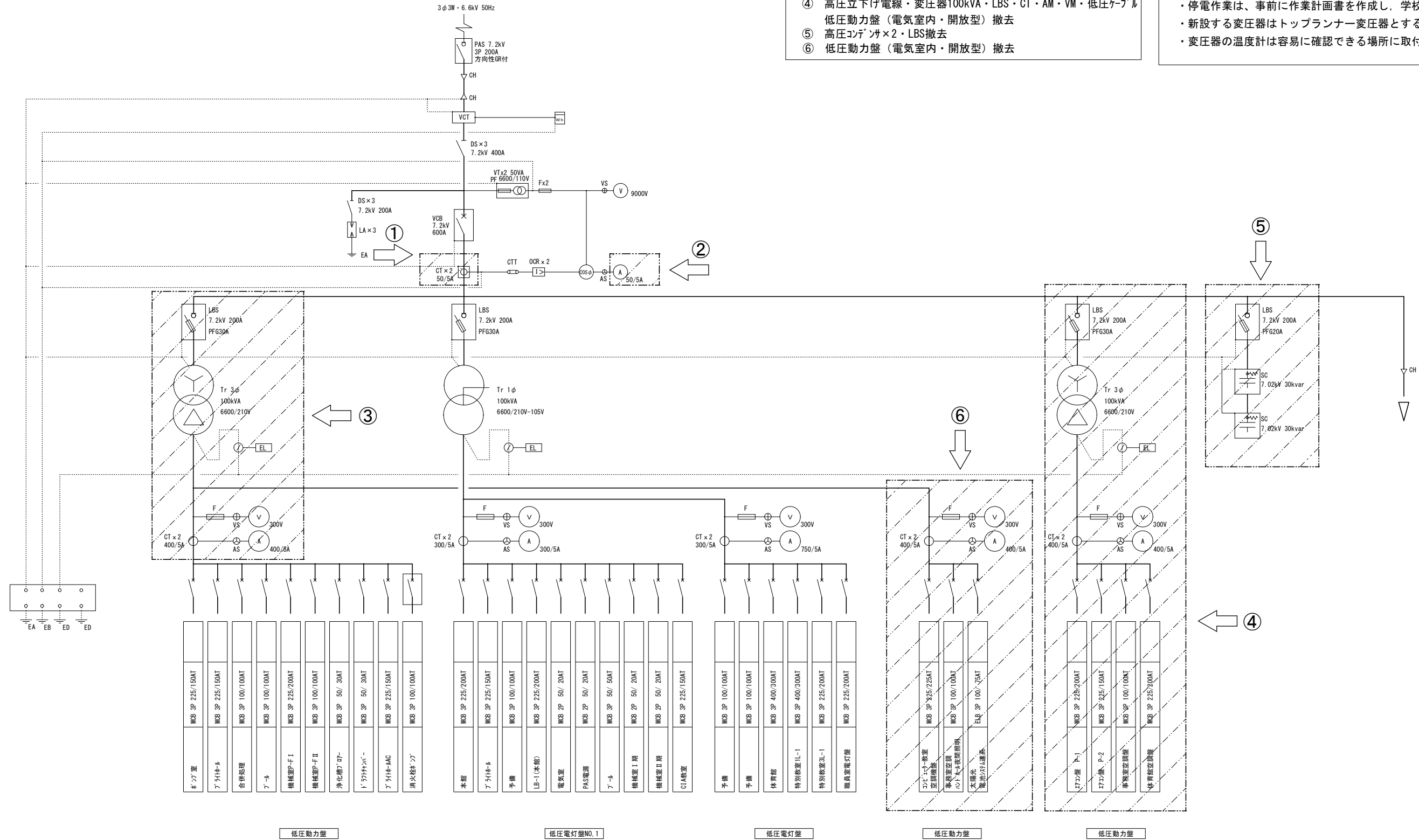
表 紙 共 15 枚

茨城県教育委員会総務企画部財務課



■ 配置図 S=1 : 1,500 ■

- 注意事項
1. 現地調査は、学校側と日程調整をすること。
  2. 停電作業日は学校側と協議による。
  3. 停電作業は事前に停電作業計画書を提出し、学校側と電気主任技術者の承諾を得ること。  
立会いや打合せ費用は本工事に含む。
  4. 工事に係る電力会社及び所轄消防署などへの協議・届出・立会等の費用は本工事に含む。
  5. 撤去品は増外撤出とし、関係法令に基づき適正に処分すること。
  6. ケーブルを取外す際は、無電圧を確認してから作業を行うこと。
  7. 天井、壁、機器等に損傷や汚損剥離が生じた場合は、受注者負担で現状復旧すること。
  8. 工事に伴って生じた騒音等はプラクプレートなどで対応すること。
  9. 作業期間中、第三者への安全対策を十分に行うこと。
  10. 工事着手に先立ち、施工計画に影響する事項全般の調査を事前に行い、施工計画書に記載して提出すること。  
併せて、試験内容についても同様に明記すること。
  11. 掘削時は既存埋設物（給水管、ケーブル等）に注意すること。

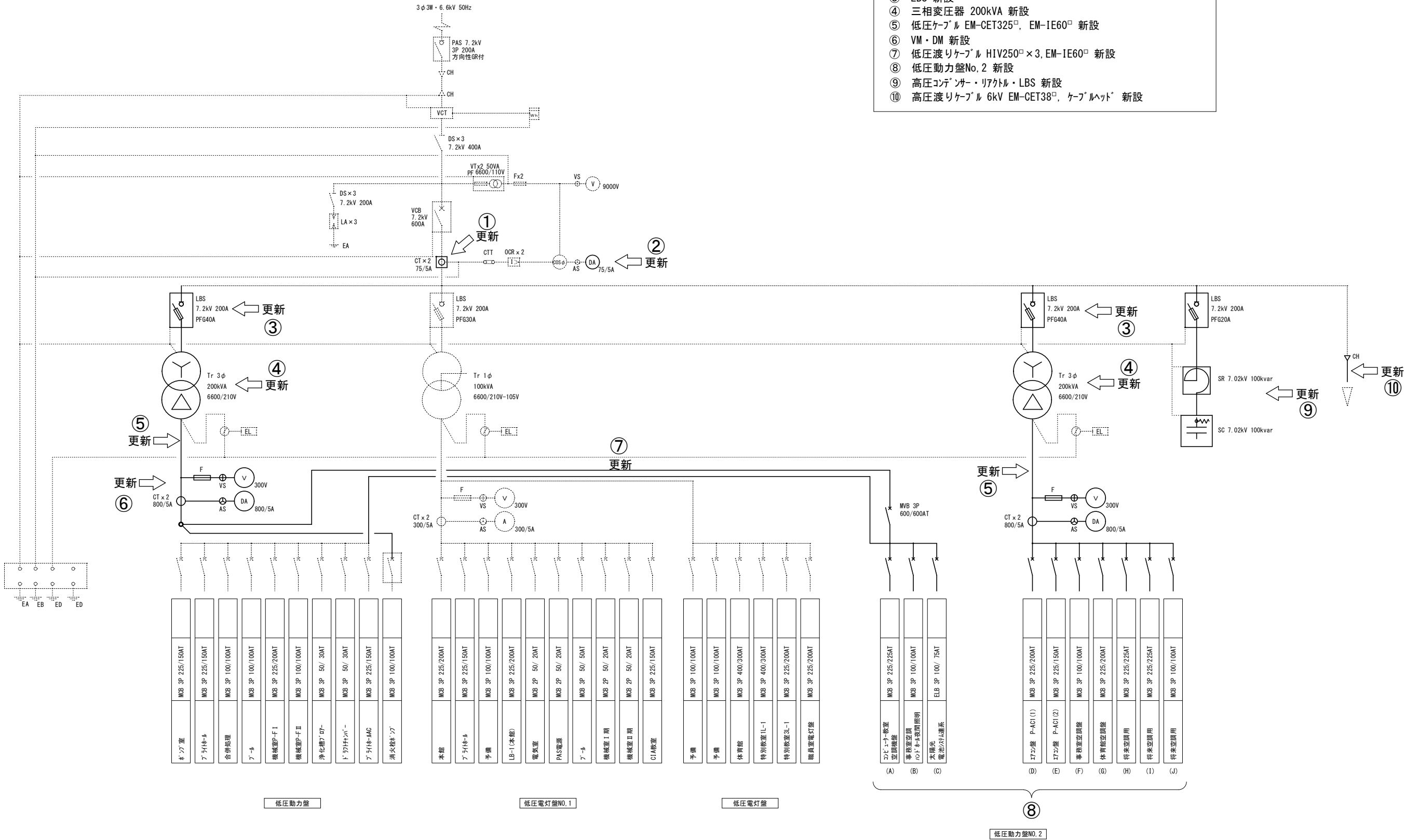


既設高圧受変電単線結線図

- 【改修内容】
- ① CT×2 50/5A撤去
  - ② AM 50/5A撤去
  - ③ 高圧立下げ電線・変圧器100kVA・LBS・CT・AM・VM・低圧ケーブル撤去
  - ④ 高圧立下げ電線・変圧器100kVA・LBS・CT・AM・VM・低圧ケーブル  
低圧動力盤（電気室内・開放型）撤去
  - ⑤ 高圧コンデンサ×2・LBS撤去
  - ⑥ 低圧動力盤（電気室内・開放型）撤去

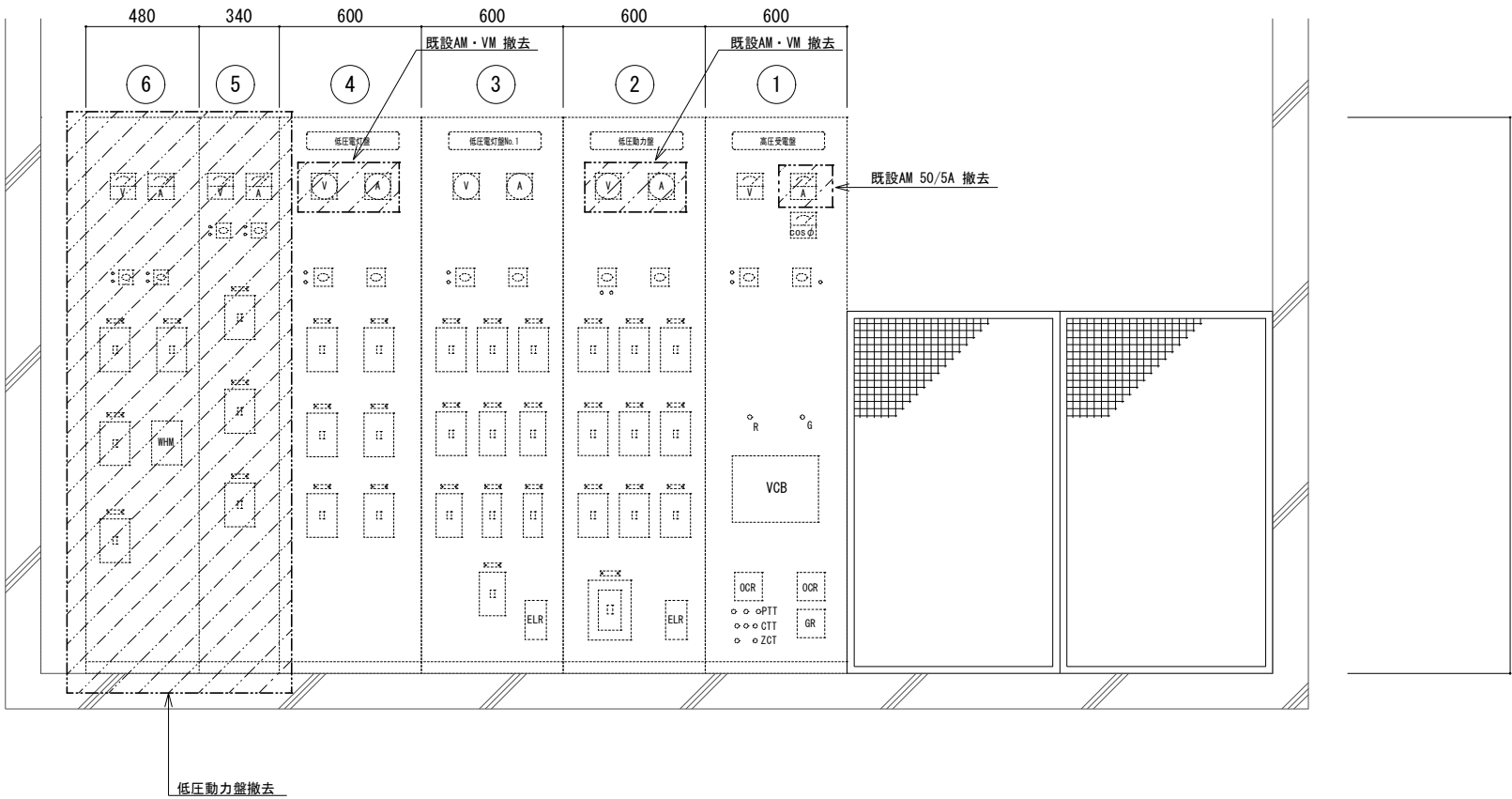
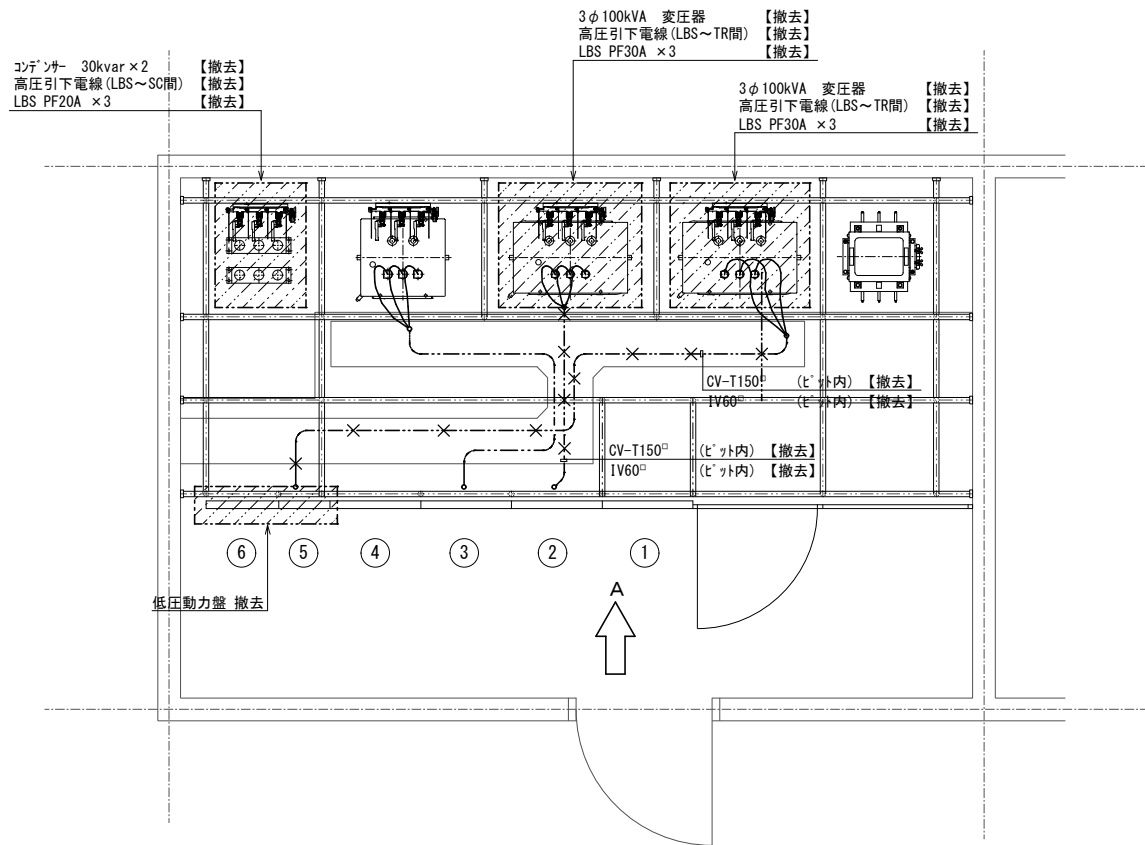
- 特記事項
- ・電気主任技術者の立会費用及び各種試験費用は本工事に含む。
  - ・撤去品は関係法令に基づき適切に処分すること。
  - ・撤去する変圧器はPCB含有の有無を確認の上処分すること。
  - ・停電作業は、事前に作業計画書を作成し、学校側に承諾を得ること。
  - ・新設する変圧器はトッランナー変圧器とする。
  - ・変圧器の温度計は容易に確認できる場所に取付けること。

- 【改修内容】
- ① CT×2 75/5A 新設
  - ② DM 75/5A 新設
  - ③ LBS 新設
  - ④ 三相変圧器 200kVA 新設
  - ⑤ 低圧ケーブル EM-CET325□, EM-IE60□ 新設
  - ⑥ VM・DM 新設
  - ⑦ 低圧渡りケーブル HIV250□×3, EM-IE60□ 新設
  - ⑧ 低圧動力盤No.2 新設
  - ⑨ 高圧コンデンサー・リアクトル・LBS 新設
  - ⑩ 高圧渡りケーブル 6kV EM-CET38□, ケーブルハット 新設



【凡例】  
図中 ..... は既存を示し、  
特記なき部分は既存再使用とする。

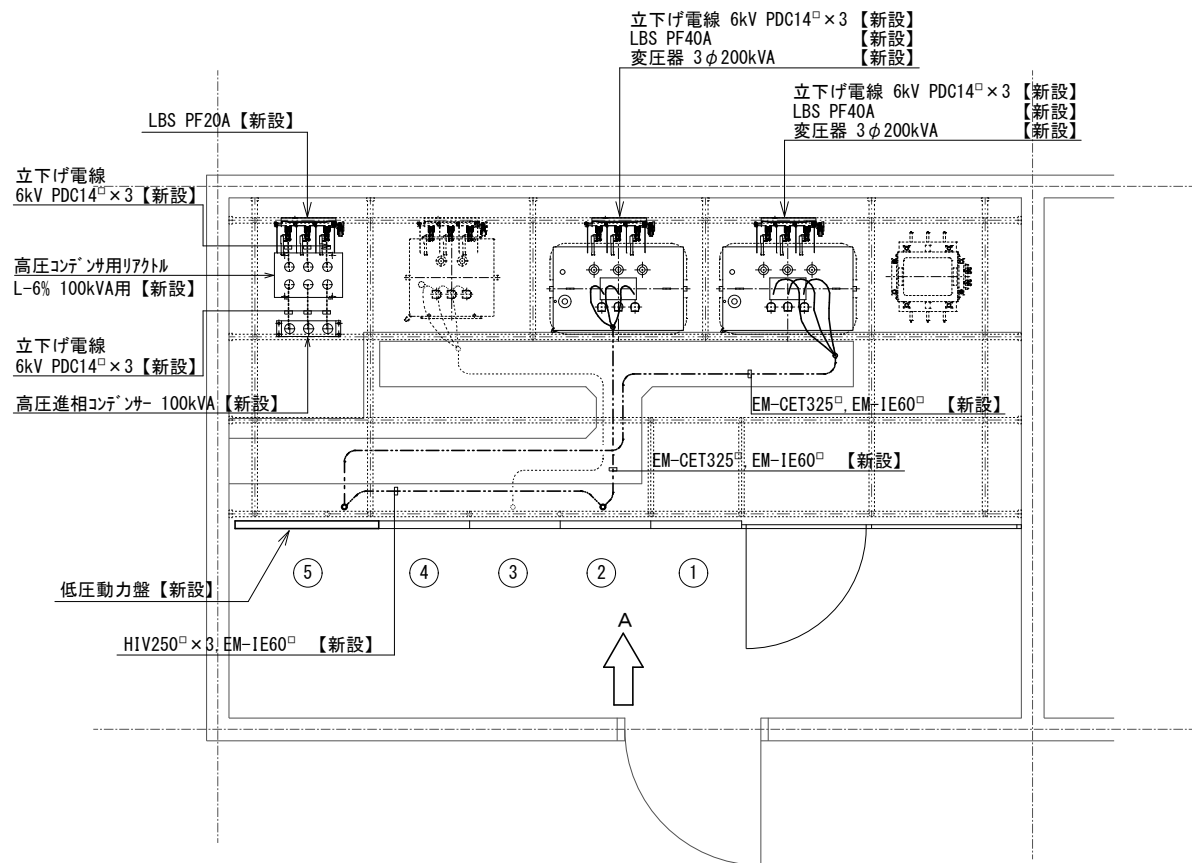
既設高圧受変電単線結線図



既存電気室平面詳細図 1:50

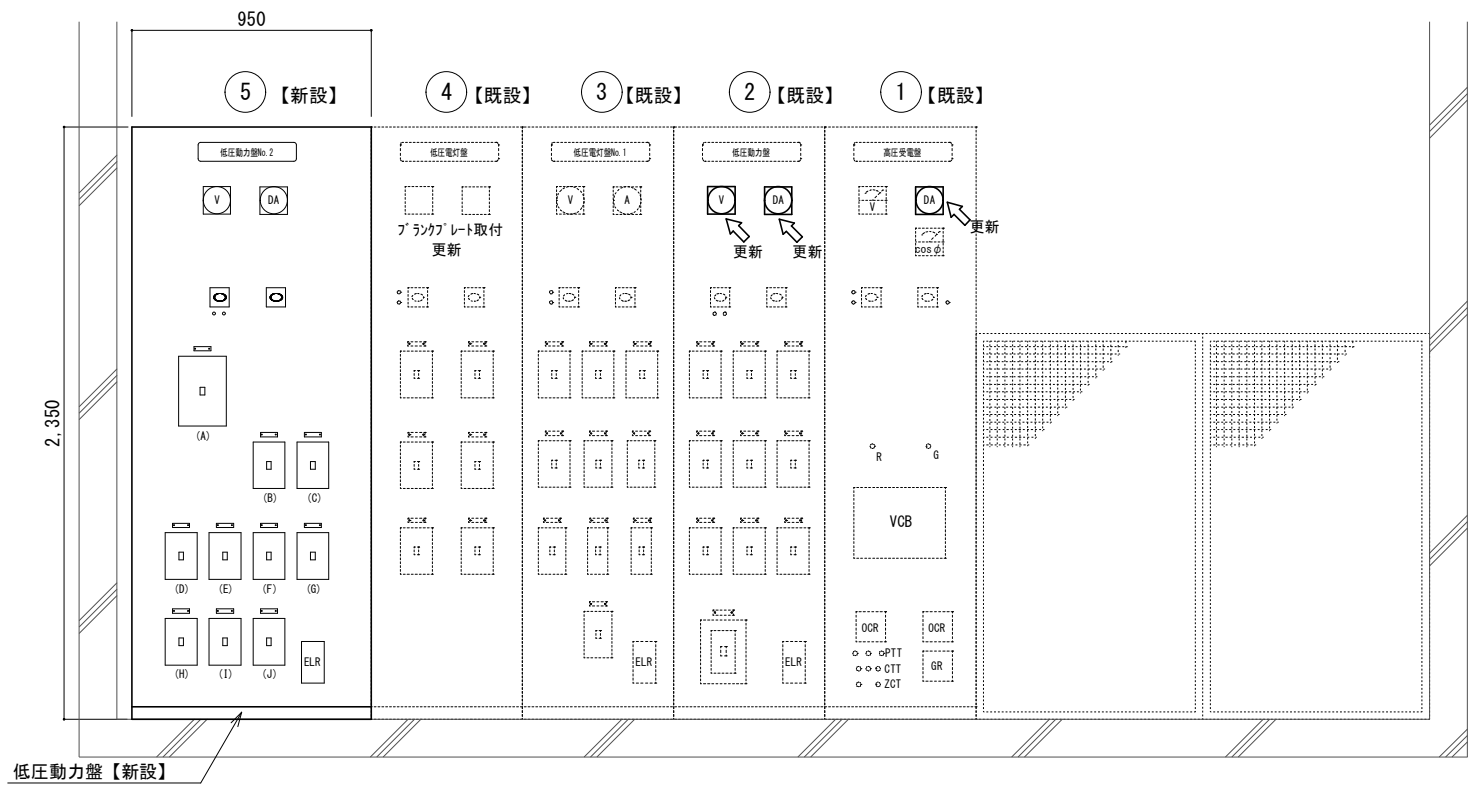
A面矢視 1:30

①	高圧受電盤
②	低圧動力盤
③	低圧電灯盤No. 1
④	低圧電灯盤
⑤	低圧動力盤
⑥	低圧動力盤



既存電気室平面詳細改修図 1:50

①	高圧受電盤	【既設】
②	低圧動力盤	【既設】
③	低圧電灯盤No. 1	【既設】
④	低圧電灯盤	【既設】
⑤	低圧動力盤No. 2	【新設】



A面矢視 1:30




株式会社 須藤設備事務所  
〒311-4153 茨城県水戸市所和田町3038-13

事務所登録 第A3733号(0609)  
建築設備士登録 第03C1-0610LK  
業種 電気  
TEL 029-353-7822  
FAX 029-353-7833

承認	設計	担当
須藤	栗司	

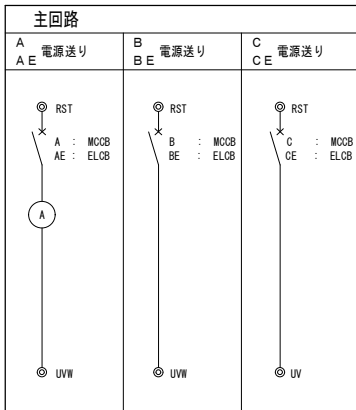
縮尺  
1:30, 50  
設計年月日  
2025.12月

工事名称  
県立麻生高等学校管理教室棟空調改修電気設備工事  
図面名称  
既設電気室 改修平面詳細図・立面図

1. 原則として、動力回路の起動方式は下表とする。

電 圧	ファン類	ポンプ類
210V	11kW以上	15kW以上
415V	30kW以上	37kW以上

2. 主MCBの定格遮断電流は短絡電流を遮断できるものとする。
3. 漏電遮断器の感度電流は30mA、0.1秒以下とする。
4. 塗装は電着塗装とする。

[illegible]

---

---

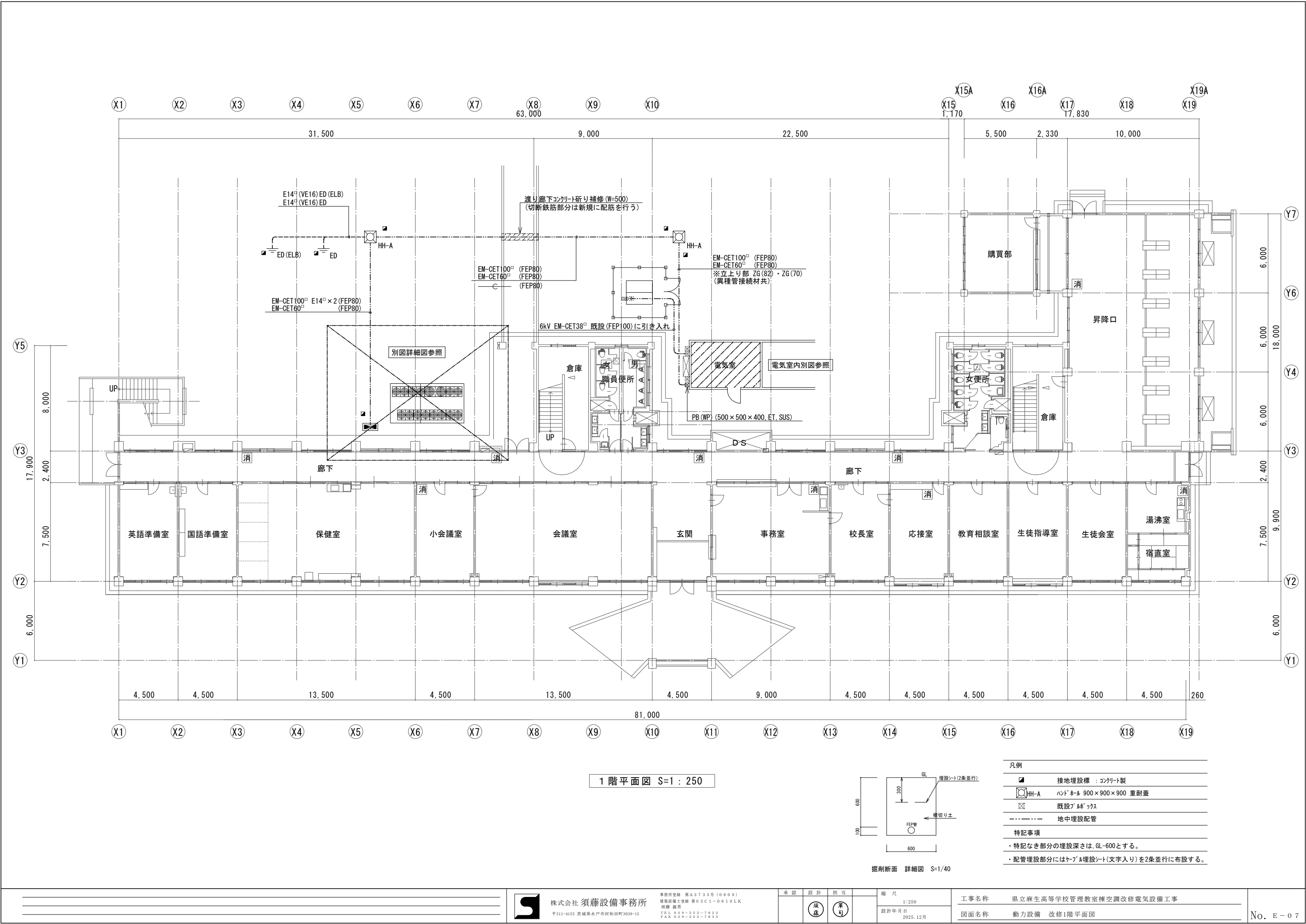
---



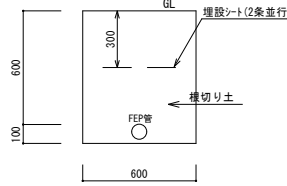
株式会社 須藤設備事務所  
〒311-4153 茨城県水戸市河和田町3038-13

事務所登録 第A3733号(0609)  
建築設備士登録 第03C1-0610LK  
須藤 義男  
TEL 029-353-7822  
FAX 029-353-7833

No. E - 0 6



1 階平面図 S=1 : 250



掘削断面 詳細図 S=1/40

凡例	
■	接地埋設機 : コンクリート製
□ HH-A	ハンドヘル 900×900×900 重耐蓋
■	既設ブレース
---	地中埋設配管
特記事項	
・特記なき部分の埋設深さは、GL-600とする。	
・配管埋設部分にはケーブル埋設シート(文字入り)を2条並行に布設する。	



株式会社 須藤設備事務所  
〒311-4153 茨城県水戸市河和田町3038-13

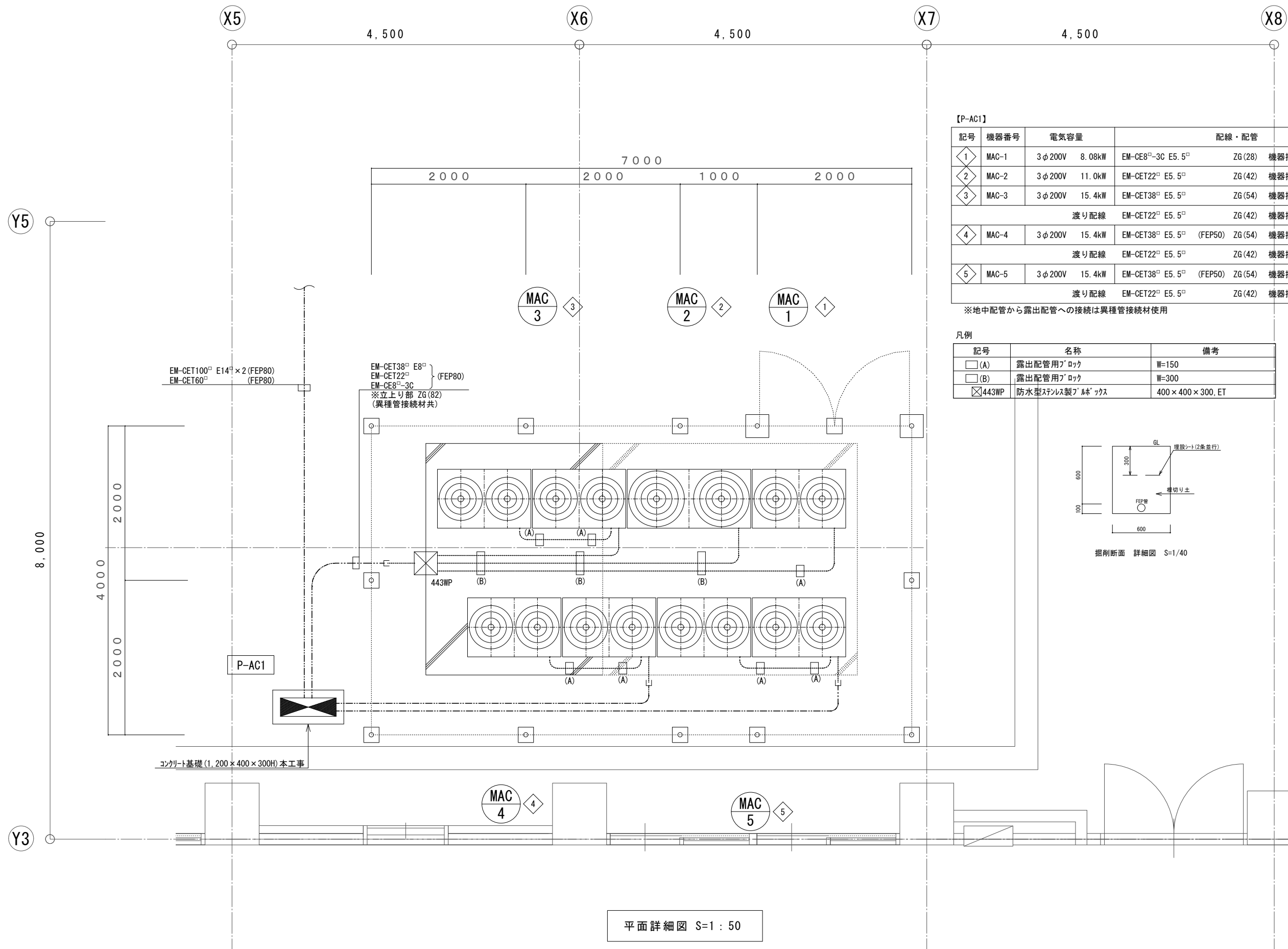
事務所登録 第A3733号(0609)  
建築設備士登録 第03C1-0610LK  
室庫 設計  
TEL 029-353-7822  
FAX 029-353-7833

承認	設計	担当
須藤	須藤	須藤

縮尺  
1:250  
設計年月日  
2025.12月

工事名称  
県立麻生高等学校管理教室棟空調改修電気設備工事  
図面名称  
動力設備 改修1階平面図





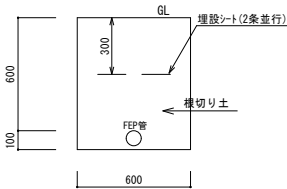
【P-AC1】

記号	機器番号	電気容量		配線・配管		
◇1	MAC-1	3φ200V	8.08kW	EM-CE8 <sup>□</sup> -3C E5.5 <sup>□</sup>	ZG(28)	機器接続部 F2(30)WP
◇2	MAC-2	3φ200V	11.0kW	EM-CET22 <sup>□</sup> E5.5 <sup>□</sup>	ZG(42)	機器接続部 F2(50)WP
◇3	MAC-3	3φ200V	15.4kW	EM-CET38 <sup>□</sup> E5.5 <sup>□</sup>	ZG(54)	機器接続部 F2(50)WP
渡り配線				EM-CET22 <sup>□</sup> E5.5 <sup>□</sup>	ZG(42)	機器接続部 F2(50)WP
◇4	MAC-4	3φ200V	15.4kW	EM-CET38 <sup>□</sup> E5.5 <sup>□</sup> (FEP50)	ZG(54)	機器接続部 F2(50)WP
渡り配線				EM-CET22 <sup>□</sup> E5.5 <sup>□</sup>	ZG(42)	機器接続部 F2(50)WP
◇5	MAC-5	3φ200V	15.4kW	EM-CET38 <sup>□</sup> E5.5 <sup>□</sup> (FEP50)	ZG(54)	機器接続部 F2(50)WP
渡り配線				EM-CET22 <sup>□</sup> E5.5 <sup>□</sup>	ZG(42)	機器接続部 F2(50)WP

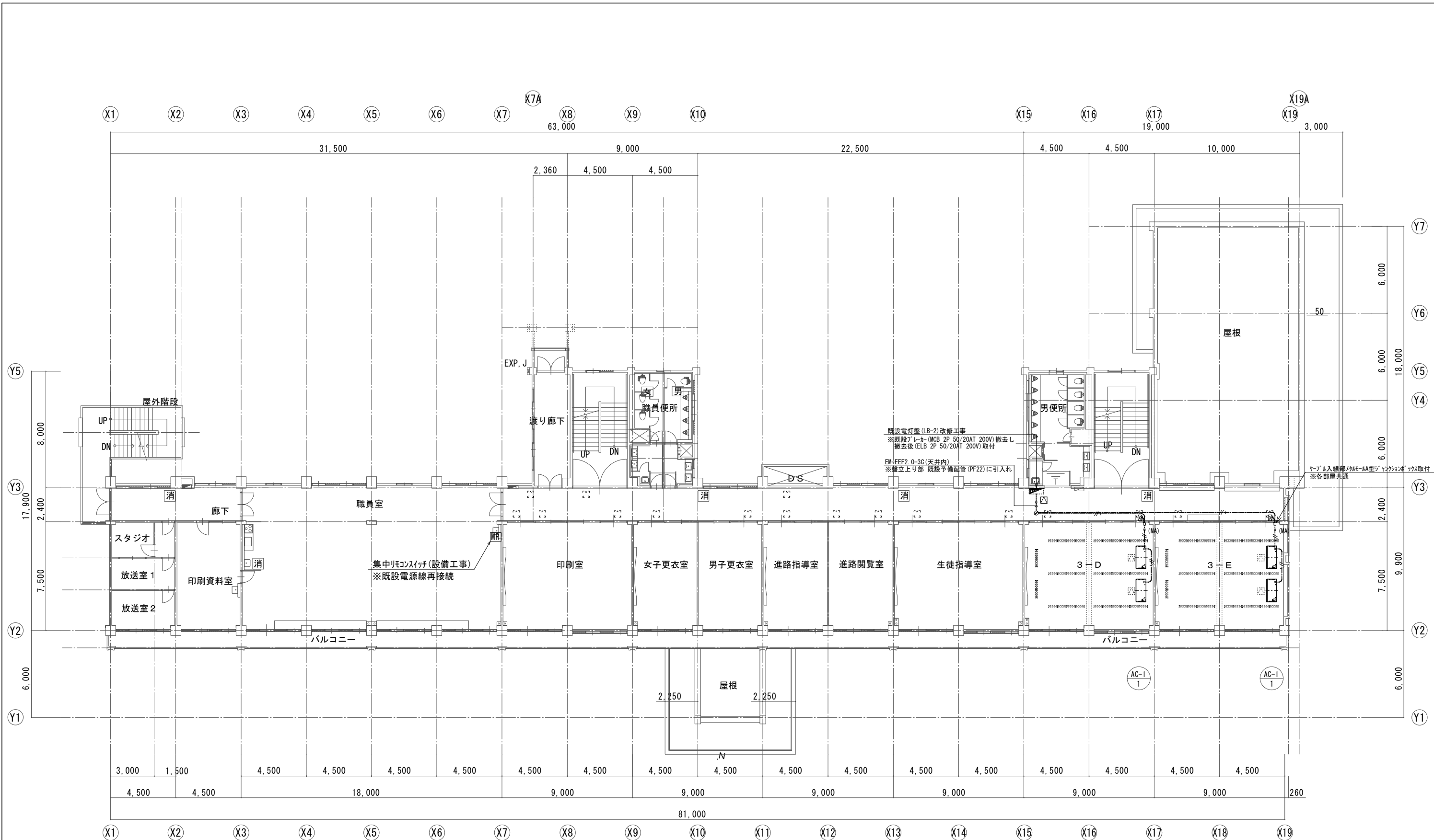
※地中配管から露出配管への接続は異種管接続材使用

凡例

記号	名称	備考
□(A)	露出配管用ﾌﾞﾛｯｸ	W=150
□(B)	露出配管用ﾌﾞﾛｯｸ	W=300
⊠443WP	防水型ステンﾍﾞﾙ製ﾌﾞﾛｯｸ	400×400×300, ET



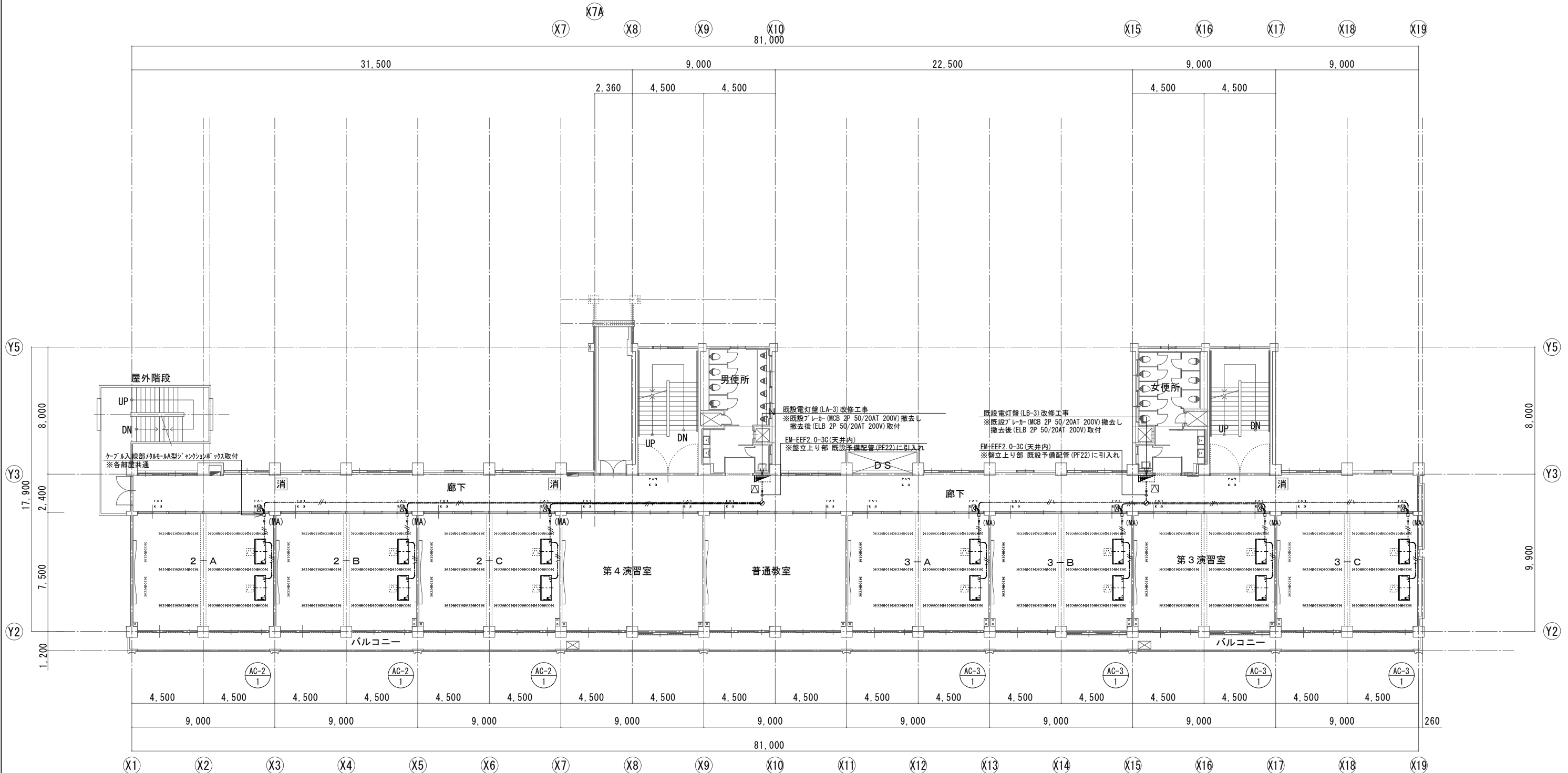
掘削断面 詳細図 S=1/40



2 階平面図 S=1 : 250

凡例		
記号	名称	備考
○	樹脂製ジョイントボックス	
□	天井点検口450角	今回新設
□	既設天井点検口	

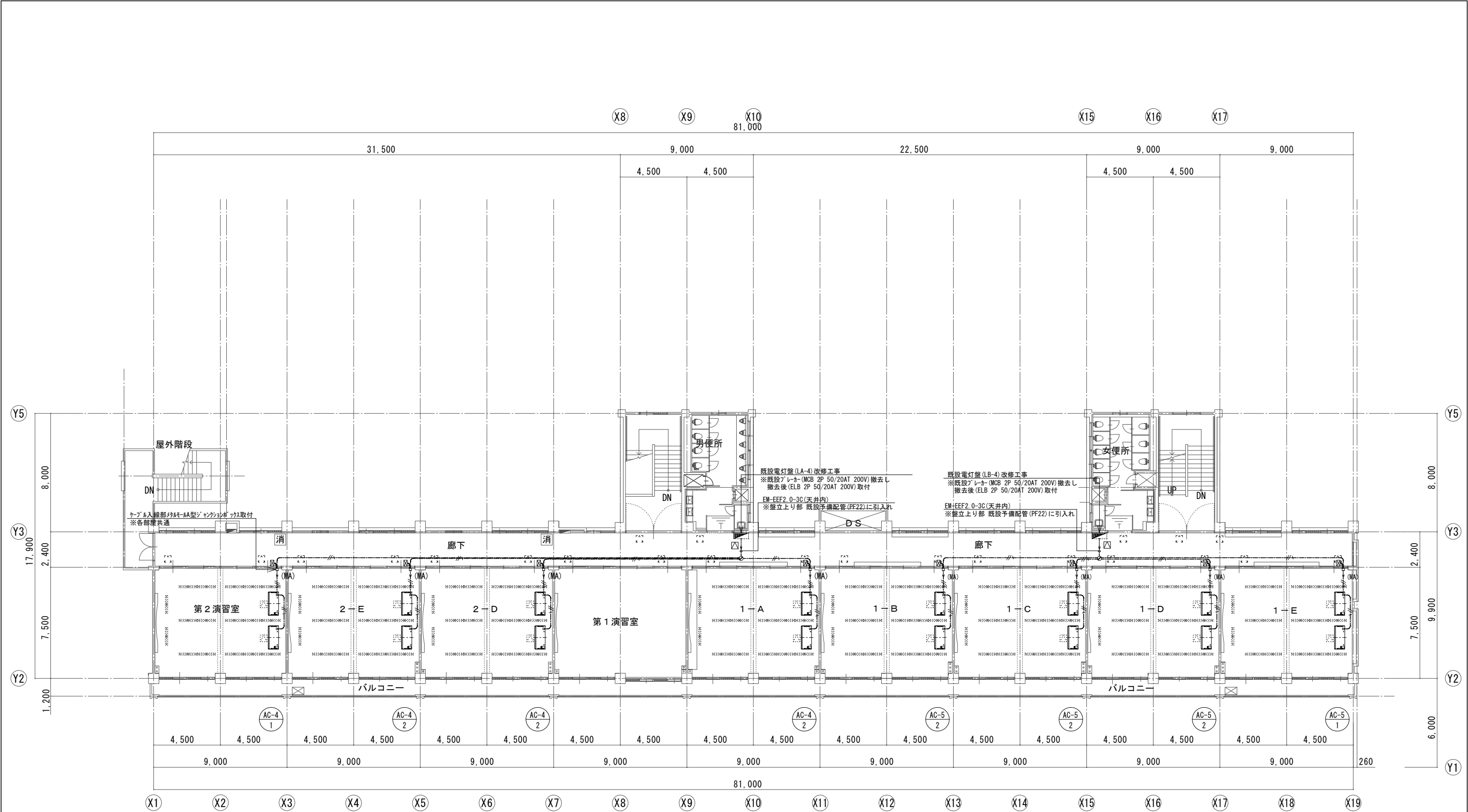
1. 特記なき配管配線は下記とする
- EM-EEF2.0-3C コブシ
- (M) 立上り部 (樹脂-M型) にて保護
2. 配線の立下げは保護管にて施工すること。



3 階平面図 S=1 : 250

凡例		
記号	名称	備考
○	樹脂製ジョイントボックス	
□	天井点検口450角	今回新設
□	既設天井点検口	

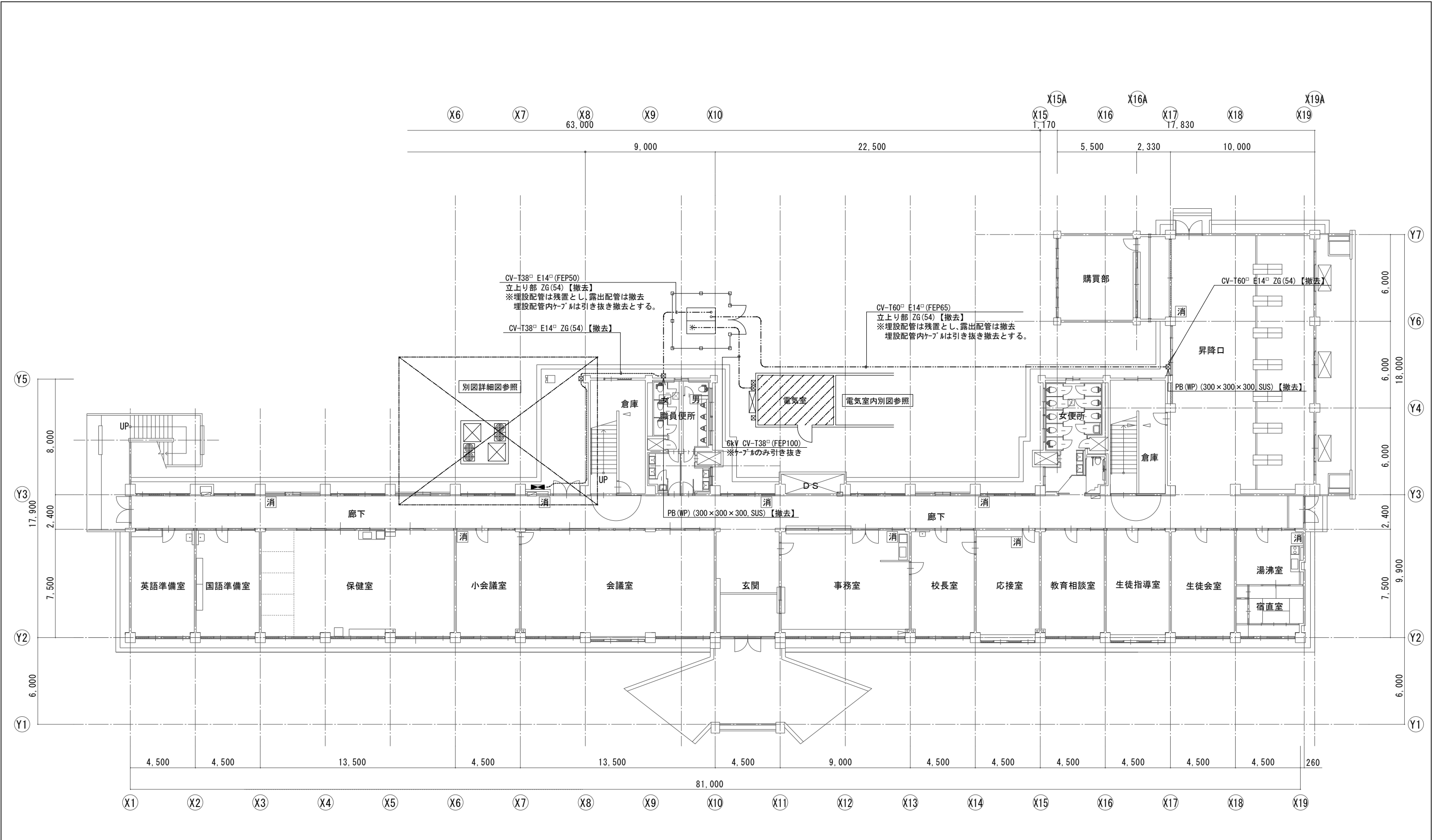
1. 特記なき配管記線は下記とする  
EM-EEF2.0-3C コダシ  
(M) 立上り部(タモ-A型)にて保護  
2. 配線の立上げは保護管にて施工すること。



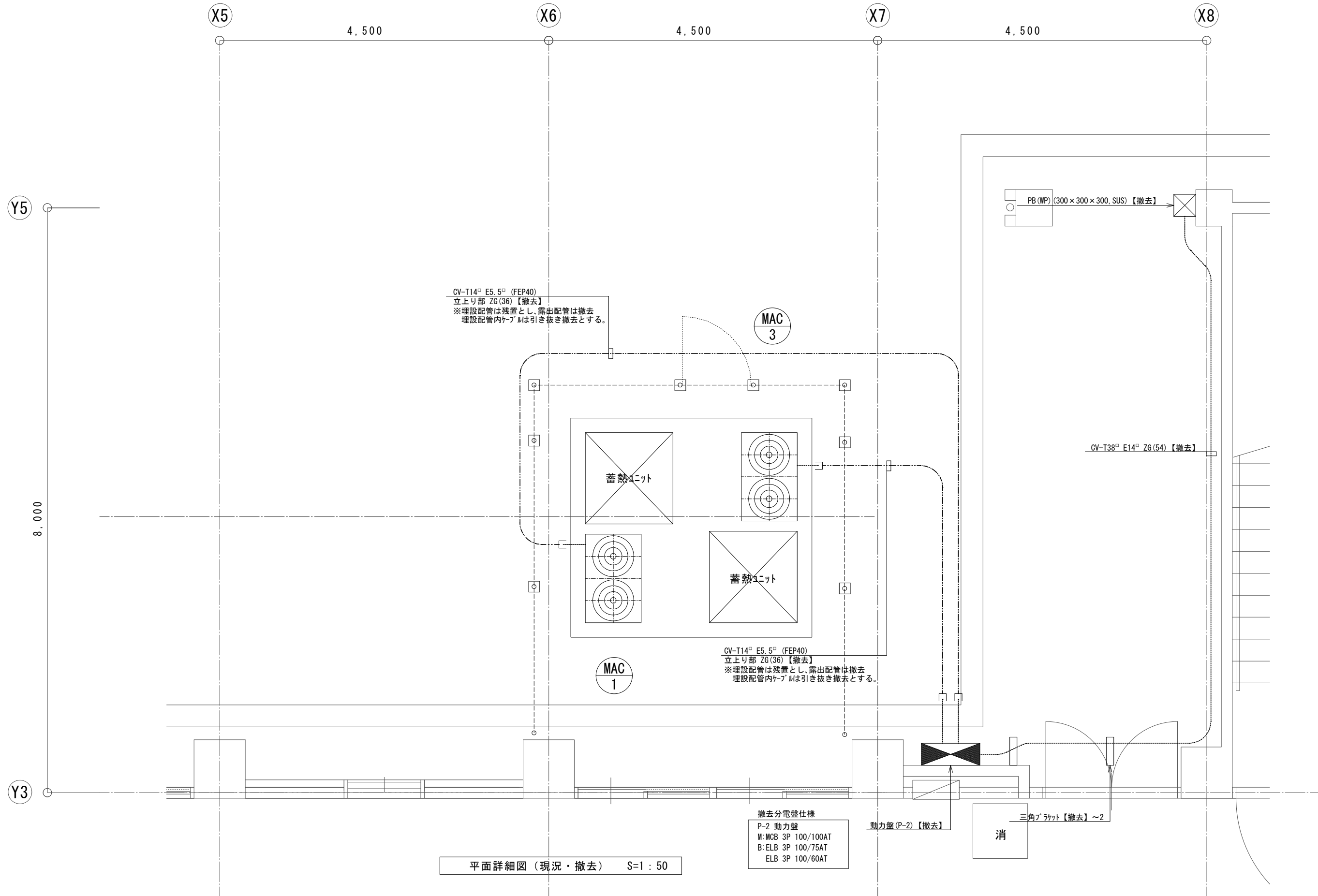
4 階平面図 S=1 : 250

凡例		
記号	名称	備考
○	樹脂製シヤンクシヨボ'ッス	
□	天井点検口450角	今回新設
□	既設天井点検口	

1. 特記なき配管配線は下記とする  
EM-EEF2.0-3C コダシ  
(M) 立上り部(M/M-A型)にて保護
2. 配線の立下げは保護管にて施工すること。



1 階平面図 S=1 : 250



平面詳細図（現況・撤去） S=1 : 50

